

アウトライン

MG5161 吹原真一郎

論文表題：フォロワーシップによる意識変革

・目次（全体の流れ）※表題・引用除く

- 1.フォロワーシップ概要
- 2..理想的なフォロワーシップ
- 3.期待される効果
- 4.フォロワーシップを運用する上での障害
- 5.4 に対する対抗・対応策
- 6.フォロワーシップ能力の向上
- 7.実際のフォロワーシップ実施例
- 8 まとめ

・各章説明

1 章では、フォロワーシップが具体的にどういったものであるのかを述べる。単にリーダーシップの対義語としてこの語を使用しているのではなく、リーダーや組織の意識に影響を与えるものとしてこれを扱っていることを説明する。

2 章では、組織の中の一フォロワーとして理想的な理論や行動の説明を述べる。環境によってこの要因は大きく異なる場合もあるが、ここでは可能な限り絶対的な要因を取り扱うものとする。そしてその理論・行動によって得られるであろう成果を3章で表すものとする。

4 章ではそれまでに取り上げたフォロワーシップの一連の流れを行う上で考えられる障害（文化・環境・性格）について述べる。3 章までに取り上げた事例はあくまで机上の空論であり、現実でこれを使用しようとした場合にどういった要因が課題として挙げられるかを説明する。また、その課題をどのように解決し、どのように改善させていくのかを論じつつ、そのために必要なフォロワーとしての意識構築論を5章で述べる。

6 章では以前の賞を全て踏まえた上で、具体的な例を出して説明の補強・補足・再認識を行う。フォロワーシップが社会にどのように作用するのかを1つ具体例を出しながら説明を行うことで、信憑性の向上や理解度を更に深めたりすることが目的である。

7 章では以前の章を踏まえたまとめを述べる。